

椎名町五行歌会

初心者の方でも、気軽に楽しめる歌会です。
決まりは、1つ。
5行で書く、ということだけ。
是非、ご参加ください。



日時 10月5日(土) 13時～
会場 LASC (ラスク) 2階
住所 東京都豊島区长崎1-1-17
Tel 03-6318-6193
連絡先 石村比抄子 090-9100-1648
会費 500円(別途ワンドリンクオーダーが必要)

西武池袋線 椎名町駅改札の左側が北口です。
北口の階段が2つあるので、左側を降りてください。 徒歩3分
なか卯の前をまっすぐ進み、アーケードに入って、2軒目です。

五行歌の作り方

五行歌とは、五行で書く歌のことです。万葉集以前の日本人は、自由に歌を書いていた。その古代歌謡になって、現代の言葉で同じように自由に書いたのが、五行歌です。五行にする理由は、古代でも約半数が五句構成だったためです。

この新形式は、約六十年前に、五行歌の会の主宰、草壁焰太が発想したもので、一九九四年に約三十人で会はスタートしました。五行歌は現代人の各個人の独立した感性、思いを表すのにぴったりの形式であり、誰にも書け、誰にも独自の表現を完成できるものです。

このため、年々会員数は増え、全国に百数十の支部があり、愛好者は五十万にのぼります。

五行歌五則

- 一、 五行歌は、和歌と古代歌謡に基いて新たに創られた新形式の短詩である。
- 一、 作品は、五行からなる。例外として、四行、六行のものも稀に認める。
- 一、 一行は一句を意味する。改行は言葉の区切り、または息の区切りで行う。
- 一、 字数に制約は設けないが、作品に詩歌らしい感じを持たせること。
- 一、 内容などには制約をもうけない。

号泣する
わたしを
母はふと
精神病院
車中にて

白つめ草よ
とどかない
きみの目線に

まだ
かがんでみても

白髪を
染めるのをやめた
喜寿の母の
贈物のリクエストは
水色の手袋